

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	商店街（代表者）	・飲食業が多くなり、小売店は厳しい状況にあるため、3か月で状況が変わるのは難しいとみている。
	◎	家電量販店（営業担当）	・3月13日より、エアコンや冷蔵庫、テレビなどの省エネ家電にエコポイントが付与される沖縄県独自の施策が開始する。2024年度の実績より、売上が大きく伸長するとみている。
	◎	その他飲食店〔ファーストフード〕（総務部）	・観光客数が増える時期であるため、観光客の影響を強く受ける店舗は景気が良くなる。地元客中心の店舗もゴールデンウィークを中心に売上は伸びる。その後は緩やかになると予想されるが今月と比べると売上は良くなるとみられる。
	○	一般小売店〔土産〕（営業部長）	・今後も卒業旅行客が増えるとみている。
	○	百貨店（経営担当）	・ホワイトデーや新生活需要などで販売量や来店客の増加が見込まれる。
	○	スーパー（企画担当）	・今後は卒業や入学等の新生活に伴う内祝い需要の活発化が見込まれる。また、ゴールデンウィークに向けた行楽レジャー需要の本格化が、来客数を押し上げる要因となる。物価上昇による選別消費は続くものの、ハレの日への支出意欲は依然として高く、景気は引き続きやや良くなるとみている。
	○	スーパー（店舗管理）	・物価高騰や国際情勢など不安材料が山積しているものの、円安や世界遺産の復興など観光業は確実に本年度も堅調な伸びを期待できる。来訪の機会が増えることは県全体に大きなプラス材料とみられる。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・陶器関連は春のイベントが多いため、動きが活性化する時期である。
	○	その他専門店〔書籍〕（部長）	・新政権になり、全体的に将来の希望がみられる雰囲気であるため、消費も増えるとみている。新年度は世界遺産の復興へ向けた報道等も増え、沖縄がますます盛り上がるとみている。
	○	一般レストラン（代表者）	・歓送迎会による需要増加に期待している。
	○	観光型ホテル（専務取締役）	・3月以降の来客数が順調に伸びていることから、先行きも期待を待てる状況にある。
	○	通信会社（サービス担当）	・近々発売が期待されているスマートフォンへの関心が高く、事前問合せが増えている。現行のハイエンドモデルに手を出しにくかった層にとって、手頃な価格帯の新機種投入は強力な買換え動機になる。これに合わせて来客数の回復が見込まれるほか、ケース等のアクセサリ販売や関連サービスの契約増加も期待できるため、景気は上向くとみている。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は前年を上回り、個人と法人利用共に好調に推移している。
	○	住宅販売会社（営業担当）	・住宅ローン制度の改正や消費者の前向きな購買意欲がみられる。
	○	住宅販売会社（役員）	・売買を中心に問合せや内覧が堅調に推移しており、今後も一定の需要が見込まれる。金利動向を注視する必要はあるが、足元の動きから、やや良くなるとみている。
	□	一般小売店〔酒〕（店長）	・早めの消費税減税対策や物価対策を期待したい。
	□	コンビニ（店長）	・前年や3か月前を比べても、売上、客単価、来客数に変化はみられない。
	□	コンビニ（経営企画担当）	・現状から変化する要因が見当たらない。また、原材料価格を商品に反映し、値上げせざるを得ない可能性があり、消費者の購買意欲が下がらないか懸念している。
□	衣料品専門店（経営者）	・卒業式などの需要を期待していたが、全体的に盛り上げに欠けている。景気は悪い状態が続いている。	
□	乗用車販売店（経理担当）	・年間を通して需要増加が期待される時期である。	
□	乗用車販売店（営業担当）	・1月の初売り及び2月実績を踏まえても、現時点では業績が改善する明確な要素がみえない。	

	□	その他飲食店 [バー] (経営者)	・ 今月は単価が上昇したことである程度売上が立ったが、人の動きが少ないため景気が良くなる兆しはみえない。
	□	観光型ホテル (総支配人)	・ ゴールデンウィークも前年並みの推移となるとみている。
	□	通信会社 (営業担当)	・ 良くなる傾向はみられない。
	□	観光名所 (職員)	・ 春休み期間は、気温が上昇して行楽日和が多くなるとみられるため、今月と変わらない来客数が見込まれる。
	▲	コンビニ (店長)	・ 4月以降も物価高は継続し、買い控えや安価な代替品に流れるとみている。
	▲	衣料品専門店 (経営者)	・ 国際情勢の変化により、石油輸入に制限が掛かり、燃料費などが高騰した場合、更に景気は落ち込むとみられる。
	▲	観光型ホテル (企画担当)	・ 2月の販売室数は前年比29%増加なのに対し、2月末時点での5月の予約室数は前年比16%増加と、プラス幅が小さくなっている。
	▲	旅行代理店 (マネージャー)	・ 売上は前年並みを維持しているが収益率としては固定費の上昇もあり今後厳しくなるとみている。
	×	—	—
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	窯業土石業 (取締役)	・ 受注した工事の開始が4月以降に集中するため、来期の第1四半期は繁忙になるとみている。
	○	建設業 (経営者)	・ 引き合いがあるため、建築意欲の衰えはみられない。
	○	通信業 (総務)	・ 春休みや観光シーズンの影響により、ホテルや飲食、小売、交通などへの波及効果が広がるとみている。
	□	食料品製造業 (役員)	・ 円安による物価上昇が今後も続き、消費者の財布のひもは固いままの状況が続くとみている。
	□	広告代理店 (営業担当)	・ 県内企業の販売促進活動は、積極的に動き出しているが、予算規模は微減が続いている。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社 (審査)	・ 新年度に向けた保育、医療介護分野の採用活動が活発化するとみている。また、ゴールデンウィークや夏季シーズンを見据えてサービスや観光業においても、欠員補充や体制強化を目的とした求人依頼と問合せが増加する見込みであり、市場の更なる活性化が期待される。
	□	人材派遣会社 (総務担当)	・ 景気回復の兆しが厳しいため、今後の消費税等の動きに注視する。
	□	学校 [専門学校] (就職担当)	・ 就職活動が前倒しになったことで、2027年卒向け求人数は落ち着いてくるとみられる。ただし、6月に2028年卒向けにナビサイトなどが開設されるため、学生と企業の動きは活発になるとみられる。
	□	学校 [大学] (就職支援担当)	・ 賃金が上昇しても、物価以上に上がらなければ景気が良くなるとみている。
	▲	—	—
	×	—	—